

平成15年、田代島周辺での大謀網の様子



石巻の漁業として、明治以降に大謀網漁のことが出てきます。どういう漁なのか、実際に見学させていただくことにしました。市史

大謀網の船に乗って



ひらかわ・あらた 昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。館長に就任した。

東北大学災害科学国際研究所の所長などを経て、平成26〜31年度まで宮城学院女子大学学長を務めた。専門は日本近世史、歴史資料保全学。令和4年4月に、3代目のサン・ファン館長に就任した。

(次回は8月21日)

宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長

ひらかわ あらた 平川 新

未来への航路

①私と石巻

石巻市史の執筆

私と石巻市との最初の関係は、1988年から始まった石巻市史の編纂に参加したときで、もう35年前のことになります。私の恩師である東北大学の渡辺信夫先生から、君も石巻市史の編纂を手伝いなさいといわれて編集委員になりました。37歳のときです。

編集委員長は当時、石巻高校の石垣宏先生でした。石垣先生とはその後、2001年に

濱田直嗣前館長のあとを受けて、昨年4月にミュージアムの館長に就任しました。よろしくお願いたします。このたび石巻日日新聞から紙面を提供していただくことになりましたので、毎月1回、連載させていただきます。サン・ファン館の館長ですので、伊達政宗や慶長遣欧使節のことなどを取り上げますが、話題を広げるために、それ以外のこともふれていきたいと思っています。

発足した「石巻若宮丸漂流民の会」でも一緒にさせていただきまし

た。若宮丸漂流民については、また改めて触れることにしたいと思います。

石巻市史での私の担当は、牡鹿半島の漁業や塩業でした。牡鹿半島とはいっても当時は

平成の合併前でしたから、主に牡鹿半島の西側が対象でした。渡波から十八成浜あたりまで、何度も浜を訪ねて

さんいただいたこともありました。どの漁師さんだったかは忘れましたが、ホヤは刺身やボン酢だけではなく、軽々あぶると甘みが出ておいし

編さん室の手配で田代島の民宿に泊まり、翌の朝4時ごろ出漁する船に乗り込ませていただきました。また朝は明けてい

いきました。家に帰ってさっそく試してみようと、たしかにうまかったですね。今でもホヤの季節になると、時々あぶって食べています。

いつのころからか、新鮮緑の車内販売でホヤの薫製を売るようになりました。ほかではあまり見かけなかったのですが、出張のたびに買っていました。今は石巻の元氣市場や仙台駅でも売っていますので、手に入れやすくなりました。ありがとうございました。



垣網とふくろ網の二部で構成される大謀網